

実施状況報告

事業名	南予教育を考える集い
実施主体名	南予管内市町等教育委員会連合会 南予教育事務所
日時	令和元年 10 月 29 日(火)13:30～15:15
場所	愛媛県歴史文化博物館多目的ホール
参加者	学校教育関係者 社会教育関係者 行政職員 一般県民 (計 197 名)

本事業は、学校・行政及び地域住民等が、教育についての理解と関心を深め、南予管内教育の充実と発展を図ることを目的として、えひめ教育月間に合わせて実施している。

本年度は、色彩樂園主宰藤井昌子氏を迎え、「災害時の絵による子どものケア～大洲の子どもたちの足あと～」と題して講演会を行った。藤井氏は、西日本豪雨災害後、自らクラウドファンディングによる活動資金の調達を行い、被災した大洲の子どもたちのために絵を描くことを通した心のケアを約7か月にわたって行っている。今回は、大洲の子どもたちの心のケアに取り組まれた経験を中心に御講演をいただいた。

参加者からは、「絵を描くことで心のケアができることを知った。絵の傾向から、心の状態が分かることを知り大変勉強になった」「具体的な事例に基づいた講演でよかった」など、参加者が今後に生かしたいという感想が多かった。事後アンケートでは、参加者の94%が肯定的意見であった。

